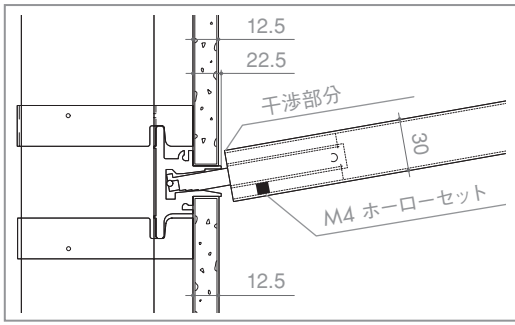




linea™

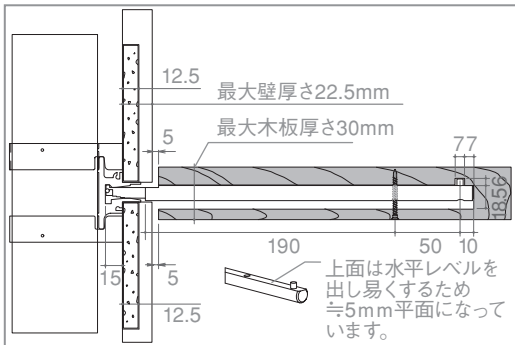
Horizontal Support System

注意事項

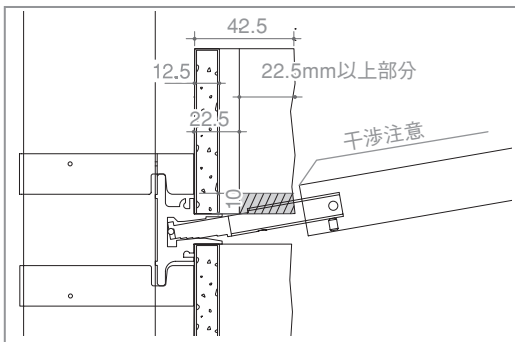


■壁面厚さと棚板厚さについて

- 仕上げボード厚さ12.5mmに対してロッド≒4mmの隙間がある設定です。
*斜め挿入によるフェイスアウトの干渉を予防しています。
- タイル等厚さの異なる仕上げの際はM4ホーローセットを緩めて調整してください。
*ロッドをレールに挿入する際は外側化粧パイプ径や棚板角が壁面に干渉する事があります。特殊壁は厚さ計算を予め行って下さい。
壁最大厚さ=22.5mm (ボード12.5mm+10mm)
棚板・フェイスアウト最大厚さ=30mm(ロッド12mm+片側9mm)

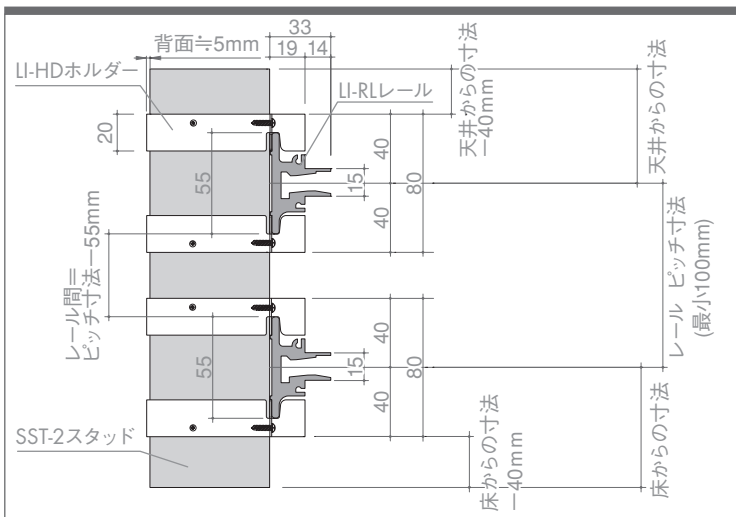


- 仕上げ壁厚さに対して棚板の間に隙間が必要です。
*予め厚さ計算を予め行って下さい。
壁最大厚さ=22.5mm (プラスボード12.5mm+10mm)
棚板・最大厚さ=30mm (シェルフロッド12mm+片側9mm)
棚板水平時の壁との隙間は≒5mmになります。
*棚板をビス止め固定する場合、シェルフロッド飲み込み寸法=15mm+壁厚さ+隙間(≒5mm)
*干渉する場合は調整下さい。



■特殊厚さの仕上げの場合

- 石貼りなどの壁厚さが22.5mm以上の場合は、ロッドや棚板干渉対策として石等をL型に切り欠く必要があります。(50mm厚で≒10mm×27.5mm分)
- その際はロッド挿入部分の寸法を変更します。固定のM4ホーローセットにて調整下さい。
- 尚、ロッド挿入寸法が短くなる為、耐荷重は極めて低くなります。ロッド挿入可能も含め、予め試作等検証の上対応下さい。
- 特殊壁面や特殊棚板の場合はお問い合わせください。



レール納まり図

LI-RLレールの芯寸法に対してLI-HDホルダーを取付ける際はフラット面が40mmになるよう墨出しして下さい。

*最小ピッチ100mmとなります。
正面よりホルダーを通す為、若干寸法の余裕を見ています。

*100mm等狭いピッチで施工する際は、ドライバーが使用できるかご検討下さい。

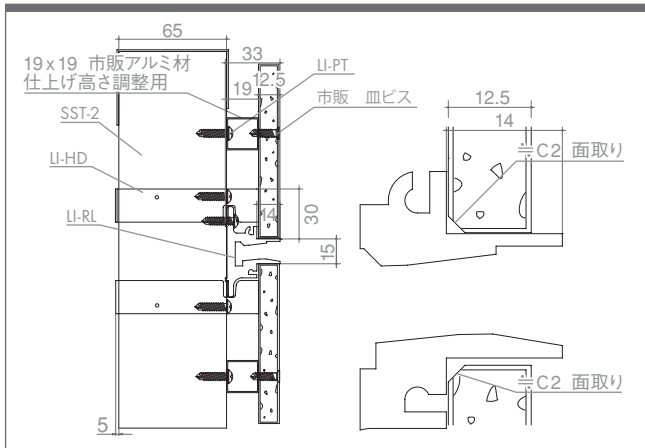
又、SST-2スタッドを立てる背面は予めホルダーを納める隙間を5mm程度余裕を見てください。

linea™ スタッド用納まり図

プラスターボード12.5mm+壁紙or塗装仕上げ

化粧壁面对応寸法 0~10mm (壁面厚12.5mm~22.5mm)

仕上げツバ部分の立ち上がりの凸凹感を軽減するため、プラスターボードのコバ面の面取りなどを行なって下さい。

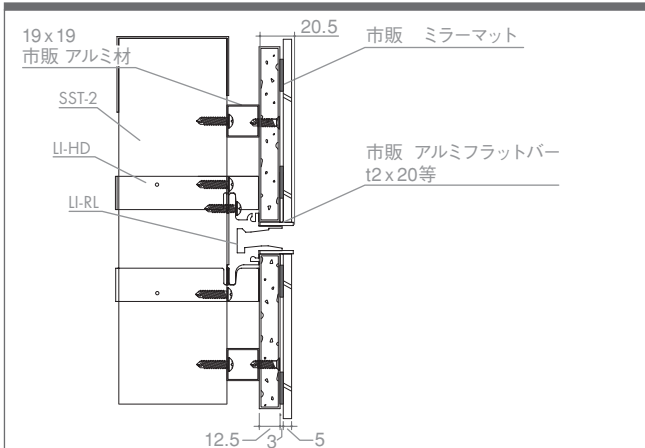


ミラー仕上げ

ミラー壁面对応寸法 8~10mm (壁面厚20.5mm~22.5mm)

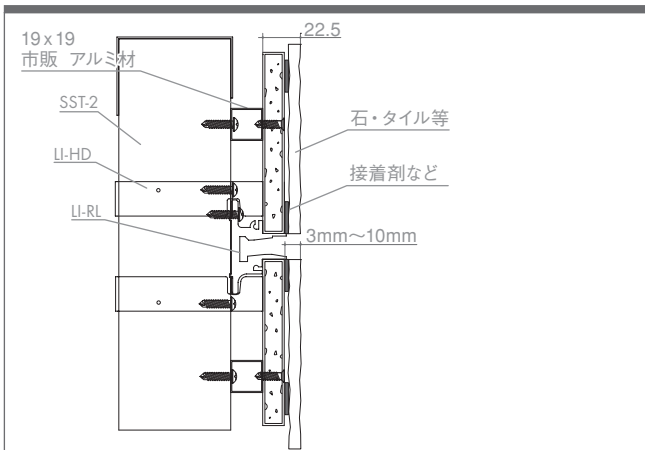
ミラー壁面对応寸法を延長する場合はアルミフラットバー (市販品) などを別途ご利用下さい。その際も22.5mmを総寸法として下さい。

ミラーの前にツバを少し出したい場合は、アルミフラットバーを2mm程度手前に出して施工して下さい。



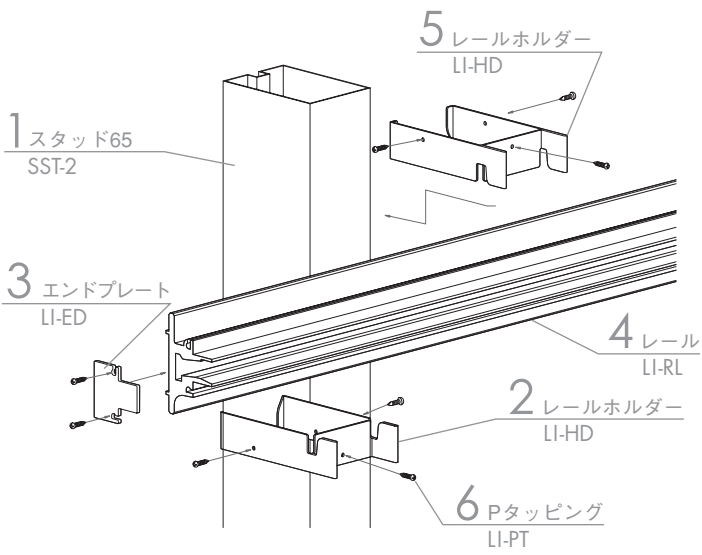
その他の仕上げ

化粧壁面对応寸法 3~10mm (壁面厚15.5mm~22.5mm)



linea™ スタッド用取扱説明書

手順



1

スタッド

- 下地材のSST-2(スタッド)を300mmピッチで立てます。

2

レールホルダー

- レール下部にあたるレールホルダー(LI-HD)を適当数取付けます。レールホルダーはLI-PTにて3箇所タッピング止めして下さい。

3

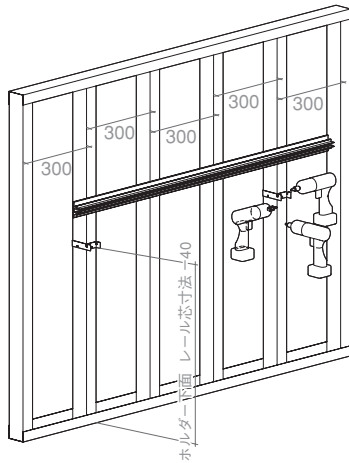
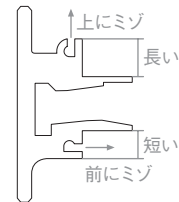
エンドプレート

- レールエンドプレートを付属ビスにて固定します。厚さ1.5mm(両端計3mm)分レール全長が変わるので注意下さい。

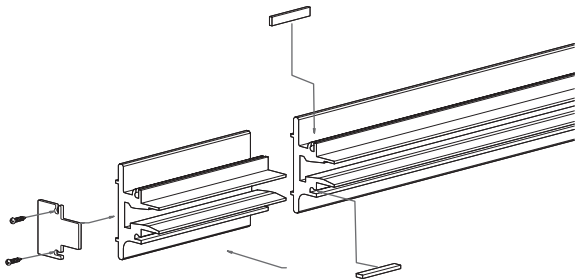
4

レール

- レールをレールホルダーに掛けます。
△この時のレールの上下と水平寸法のチェックをして下さい。



連結用角ピン

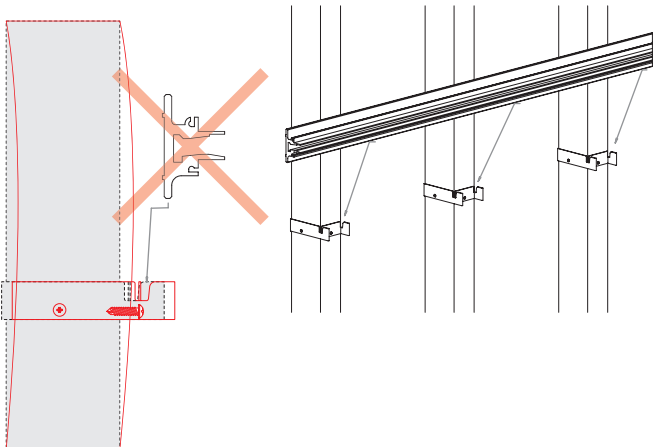


- レールを正面から壁付け連結出来ますので、
入角までの施工が容易です。

連結ピンはレール用エンドプレートビス固定溝穴を利用します。
レールを合わせて上から1本、正面から1本差込みます。
そのあと、レールをレールホルダーで固定して下さい。

- * エンドプレートビス固定の順序は最端レールが
入角の場合は連結前に行って下さい。

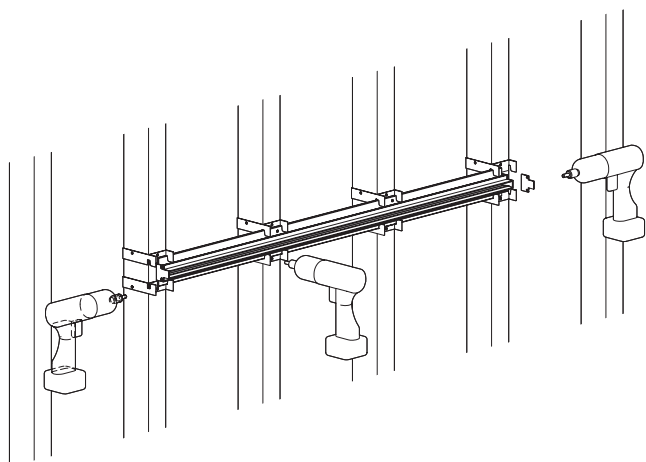
- レールホルダーをレール上下に嵌め込んでビス止めして下さい。
レールを受ける際、先に300mmピッチでホルダーを全てビス止めしてしまうと、スタッドのブレ(前面奥行・捻じれ等)が影響して納まりにくくなります。



手順

5

レールホルダー



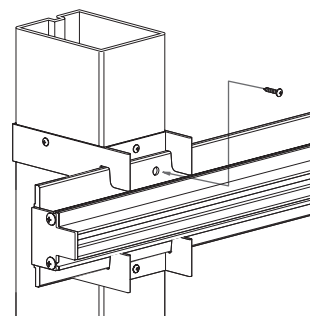
- スタッドに対し上下2個ずつレールホルダーを3箇所タッピング止めしてレールを固定して下さい。

6

Pタッピング

- レール1本当たり1～2箇所スタッドに対してタッピング止めし、横ずれの防止をして下さい。

△ 下穴をあけて固定して下さい。(≒3φ)

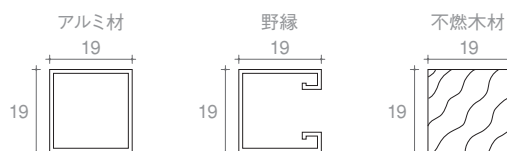


7

Cチャンネル
(市販)

- プラスターボードなどの取付深さ合わせ用に立ち上がり19mm分を、19×19mmの市販アルミ材・野縁・不燃木材などで固定して下さい。

- 19×19角パイプご利用の際、ビス頭は皿グリするなど、ボード貼りに影響がないよう注意して下さい。

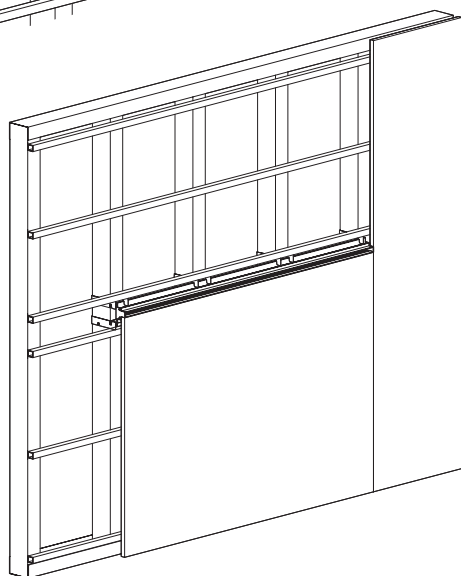
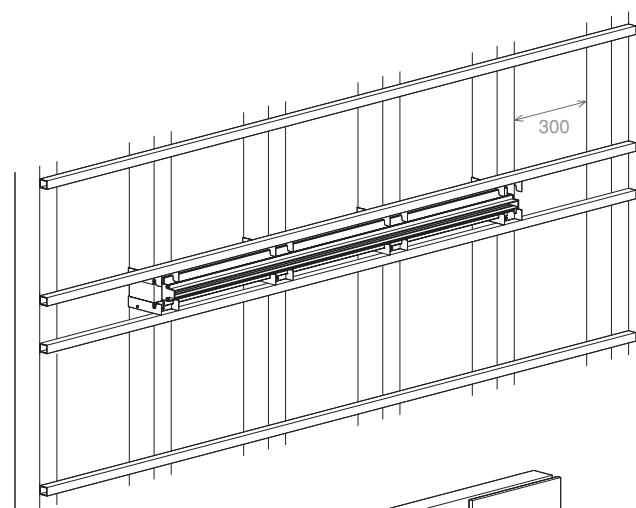


8

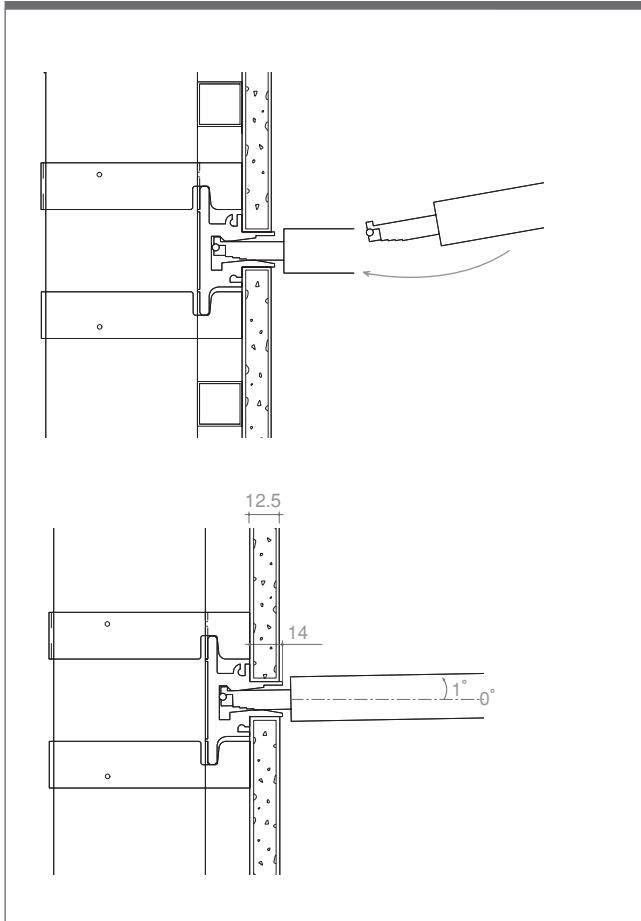
プラスターボード
(市販)

- プラスターボードを貼る。レールエンドキャップが必要な場合が固定されているか確認の上プラスターボード等を貼って下さい。

その際エンドキャップ1.5mm(両端計3mm)分のレール全長が変わっている事に注意下さい。



ロッド取り付け図



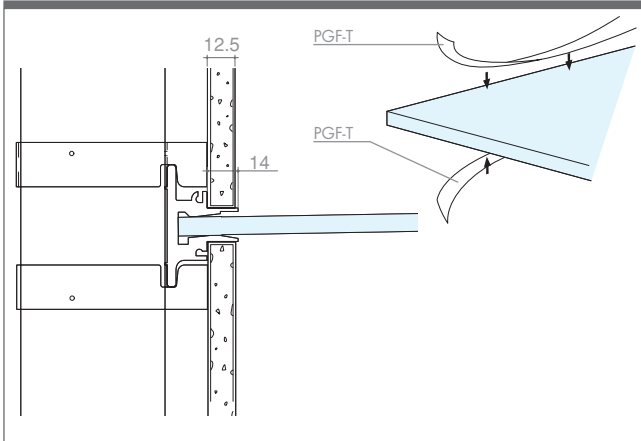
各ロッド・ガラスの差込みはレール正面に対して斜め上から行って下さい。

フェイスアウト・ガラス棚板は1°を基本仕様としています。

*概ね安全目安荷重付近で水平0°となる想定をしています。各部材の公差や取付納まり具合により微妙な角度差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

*細いレールに対しての支援システムになりますので若干のしなり感があります。

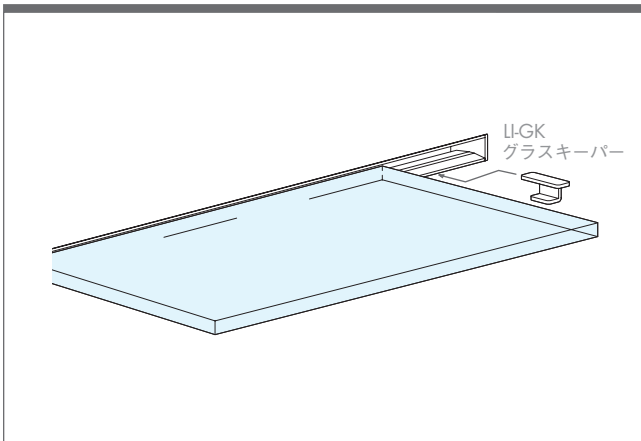
ガラス納まり図



ガラス仕様挿入棚板厚さは8mm専用です。使用環境や耐荷重を検討の上、強化ガラスやアクリル等を選定して下さい。

緩衝材としてPGF-Tを差込部分裏表に貼り付けご使用下さい。(貼り付け時棚板角度1°UP)

LI-GK グラスキーパー(左右兼用)



ガラスコバ部分に嵌め込みそのままスライドさせてレールとガラス上面隙間に差込みます。

*ガラスワイド寸法はLI-GK1個当たり2mm(左右合計4mm)マイナスして下さい。